

この度は、中央審査委員会賞という大
変名誉ある賞を頂き、有難うございます。中
学校生活最後の年にこのような賞を受賞する
ことができ、喜びと感謝の気持ちで一杯です。
毎年、硬筆の課題手本を見て、美しい文字
と素敵な言葉に感動します。しかし、それと
同時に、私にも書けるのだろうか。と少し不
安な気持ちにもなり、いじれただけ、お手本に
近づくことができるのか。自分への挑戦が始
まります。

今年の課題は、日本で一番古い物語と言わ
れている『竹取物語』で学校で習ったことも
あり、何度も声に出して読んでみました。空
想の物語の情景の素晴らしさを想像しながら
書いたもので、このことが伝わっているのと
ても嬉しいのです。
今回、身に余る賞を頂きましたが、今後も
目標をもち、書を楽しむことを忘れずに、努
力していきたいと思っています。
最後になりましたが、いつも丁寧に指導

して下さる先生方、大会関係者の皆様、私を
支えてくれている家族に感謝しています。
本当に有難うございました。